

在宅医療カフェ（びわ地区）

開催日時 平成 26 年 9 月 13 日（土） 16:00～17:45

（地） 地域を支援する方 （支） 医療福祉支援者 ●タイトル（表札） ◎スローガン

《 1 G の意見交換 》

◎ 今晚、生き方、死に方について考えよう！

●高齢者世帯の増加

- ・ 高齢者世帯が多い（地）
- ・ 家族の在り方が多様化 同居でなく隣居・近居が増えている（地）
- ・ 独居（支）
- ・ 高齢化と共に独居が増えている（支）
- ・ 高齢者の独居または老人世帯が増えている（支）
- ・ 高齢者または独居が多い（同敷地内に子夫婦が住んでいても関わりが薄い（支）
- ・ ひとり暮らしや2人暮らしが増えているので看取りや介護の不安が大きい（支）

●介護力の低下

- ・ 老老介護が多い（地）
- ・ 支える人が減少している（地）
- ・ 老々介護に対する支援（支）
- ・ 若者の流出（支）

●認知症の支援対策不足

- ・ 困った時の受け入れ施設がない（支）
- ・ 閉じこもっている方が増えていないか（支）
- ・ 認知症の増加 徘徊対策が結構ない（支）

●生き方・死に方

- ・ 本人の覚悟と家族の理解（地）
- ・ 医療進歩についていけない（地）
- ・ リビングウエルを大事にする（支）
- ・ 延命治療の意志を話し合っているのか（支）
- ・ 体調の変化や急変時の早期発見に気づきにくい（支）

●環境問題

- ・ 医療機関までの交通手段に乏しい（自家用車だけ）（地）
- ・ 障害や不自由な体になっても住みづらい家が多い（地）
- ・ 交通機関がない（支）
- ・ 交通手段が少ない（支）
- ・ 就職先がない（支）

●介護予防

- ・ 寝たきりにならないために何かしているか（地）

●多職種連携

- ・ 医療福祉介護の専門職連携を強化する（地）
- ・ 全体像の把握・・・連携（支）

●医師が乏しい

- ・ びわ診療所の閉鎖・・・便利だった（地）

●地域の繋がり

- ・ 地域の見守り支え合いの強化（地）
- ・ 若い世代は地域との関係が薄い（医）
- ・ 個人情報などで近所付き合いが減っている（医）



《 2G の意見交換 》

◎ 支援者と利用者のコミュニケーション・・・お互いを知るために

● 家族の負担

- ・ 介護と仕事との両立の難しさ (地)
- ・ 介護者の大きな負担・ストレス (地)
- ・ 家族の負担が大きい。勤めている人が多い (支)
- ・ 介護者のストレス発散の場は？ (支)
- ・ 自宅で看取りをするには家族の覚悟が必要。十分なサポート体制がない (知識も少ない) (支)
- ・ 認知症の増加に伴い在宅で過ごすことが難しくなってきた

● 価値観 (死・世間体)

- ・ 世間体を気にしてしまう (支)
- ・ 家で看取りをすると見捨てたと思われる (支)
- ・ 死はどのように経過するのか 一般の人は怖いというイメージ (支)

● エンディングを決める

- ・ 自分自身は在宅を希望する (病気にもよりますが) (地)
- ・ 各自、自分の終末医療について文章を残す (支)

● 制度に対する知識不足

- ・ 介護保険のシステムを知らない (支)
- ・ 医療福祉サービス、どんなものがあるか知らない (支)
- ・ 誰がサポートしてくれるか分からない (支)
- ・ 在宅医療の認知度不足 (支)

● 資源不足

- ・ 早く往診してくれる医師が少ない (支)
- ・ 往診してもらえない医師が少ない (支)
- ・ 認知症の方の対応できる訪問サービスが少ない (支)
- ・ 在宅をできる施設がまだまだ少ない (支)

● 公共機関不足

- ・ びわ北医療機関への交通手段が弱い デマンドタクシーのみ (地)
- ・ 通院手段が限られている (支)
- ・ 高齢世帯で通院する際、移動困難 (支)

● 地域交流

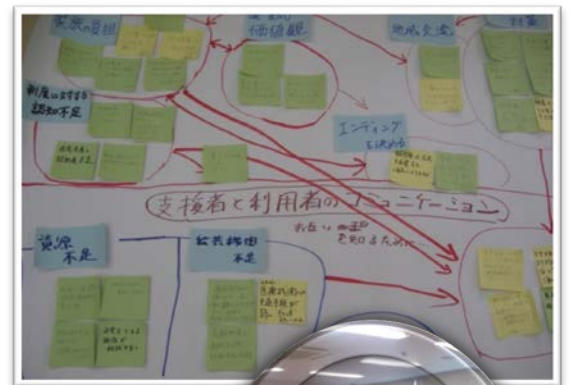
- ・ 一人暮らしの方への関わりがしにくい状況 (地)
- ・ 世代間交流が少ない (支)

● 独居老人対策

- ・ 独居ではとても対応できないのでは？ (地)
- ・ 高齢者が増えているなど介護者が少ない、いない家庭が増えている (支)
- ・ 独居の方の看取りについて (支)
- ・ 独居老人が多い。その人たちの医療も増 (支)
- ・ 少子高齢化でその人たちの介護の担い手確保 施設訪問不足 (支)

● 支援者への期待

- ・ ケアマネが何処にいるのか分からない (相談できる人がいない) (地)
- ・ 要介護者が若い人でも判断ができない。医学的にどんな具合なのか (地)
- ・ ケアマネさんにより対応が異なった (親戚の方) (地)
- ・ 相談する人によって意見がまちまち (地)
- ・ 医療関係者間の連携強化 (支)



《3Gの意見交換》

◎家族と地域の連携

●家族

- ・老衰で親が弱っていく様子が理解できない（支）
- ・看取りをしてくれる施設が・・・看取りの場所（支）
- ・家族関係が希薄で身体症状を若い人、別居の家族把握していなくて重症化してしまう（支）

●情報

- ・災害時の対応、避難するとき・した時に医療介護の必要な方の対応（支）
- ・日頃の気づきを伝える（支）
- ・医療と介護の連携 もっと深くしなければ（支）
- ・定期健康診断を何処で受ければ良いか分からないらしい（支）

●高齢者世帯が多い

- ・高齢者のみの世帯が多い（地）
- ・高齢者世帯が多く空き家が増えている（地）
- ・高齢者2人暮らしが増加している。今後5年もすると更に増加。日常生活そのものが自力でできなくなりサービスが必要になる（地）
- ・昼間の老人世帯が多い（地）
- ・高齢者のみの世帯が多いから在宅看取りが難しいと感じている人が多い

●交通手段がない

- ・医療施設は充実しているが交通手段がない（地）
- ・交通機関は自家用車のみと考えられる（地）
- ・買い物に行きたくても手段が中々難しい（地）
- ・通院したくても交通手段が厳しい（特に高齢者の方）（地）
- ・高齢者のドライバーが多い（支）
- ・受診に行く手段がない。あるいはデマンドバスを使っても不便で大変（支）

●買い物が不便

- ・若い世帯員がいないと日用品、食糧品の買い物に行く手段がない（地）
- ・買い物が不便（地）

●薬について

- ・薬が多く余ってきて困ってはいませんか（支）
- ・服薬の管理ができない（支）
- ・薬の飲み忘れる事が多くありませんか（支）
- ・薬を飲み忘れた時どうしていますか？2回分を一緒に飲んだりしていませんか？（支）



《 4G の意見交換 》

◎びわを愛して地域力を高める

●高齢者のみが多い

- ・一人暮らしの高齢者にどのように手を差し伸べたらいいか (地)
- ・高齢化が進み何らかの病気を持っている。認知症が増えている (地)
- ・一人暮らし・老夫婦の家庭が多くなってきている (地) 大家族だと孫や曾孫の影響が大きい (地)
- ・高齢者の方が増え子供が少なくなってきた (支)
- ・同居家族がおられても日中独居の高齢者が増えている (支)
- ・日中独居の方が多く資源としてディサービスよりもっと集まり易い場所がない (支)

●医療連携

- ・人手が少ない (医師・看護師・介護士) (支) 訪問看護ステーションが少ない (支)
- ・訪問歯科治療するための機械が高額だという事で、思うような診療が受けられていない (支)
- ・各職種の集まれる場所 (支)

●情報

- ・地域の介護などに関する情報が住民に伝わっていない (支)

●意識

- ・まだまだ認知症についての見方に偏りがある。地域柄、隠してしまう (支)
- ・地域住民の医療に対する意識改革が必要 (治療の限界) (支)
- ・自宅で最期を迎えたいと思う人は多いが若い人との考えにズレがある (支)
- ・看取りが身近でない (支)

●家族力 ・家族の力 (支)

●経済力 ・年金暮らしでは生活が苦しい (地)

●びわの魅力 自然が一杯、住み慣れた場所 (地)

●介護力

- ・子供が都会に出てしまっている。頼る人が少ない (地)
- ・核家族で老老看護・介護、介護力がない (支)
- ・介護する家族の負担 (支)
- ・隣付き合いが少なくなって会話が無くなった (支)

●生活

- ・何処に行くにも移動する手段が必要。車がないと動けない (地)
- ・通院、買い物的手段が余りない (支)
- ・高齢者が買い物する店が遠い (支)
- ・びわ地区の主3医院に通院するにも、タクシー料金が高く巡廻してくれるタクシーが欲しい (支)
- ・病院に通うのが遠い。車がないと移動できない (支)
- ・食糧、日用品の調達のために車が必要 (支)

●イベント出席者が少ない

- ・集まる場の提供 自治会・イベント (地)
- ・楽しむ場所が少ない (支)
- ・高齢者たちが集まれる場所や、集う催しが少ない (支)

